第１回　商工業振興会議

１ 期　日：令和３年１１月１９日（金）13：30 ～ 14：45

２ 場　所：益田商工会議所３階大会議室

３ 参集者：委員４名、事務局

４ 議　事：意見交換

「新型コロナウイルス感染症に関する支援について」

「新事業への挑戦サポートについて」、「現状把握」、「その他」

意見交換

①テーマ「新型コロナウイルス感染症に関する支援について」

 【委員等からの意見】

・飲食業においては、一時期に比べれば来客は増加したが、以前ほどではない。　　忘年会の開催もまだ見合せるところもある（スナック関係は厳しい）。

・宿泊業においては、火力発電所の建設関係が一段落した。旅行関係も一時期に比べると増えている。

・業種や事業所によっては、状況が異なり、非常に繁忙や新たな設備投資、機器更新に取り組む事業者もある。

・コロナ関係の資金調達の需要は、落ち着いている。

・県給付金については、現在１０件/日程度の問い合せを受けることがある

・直接県へ連絡されているのかもしれない。

・燃料費や原材料の高騰に加えて、特に海外からの資材調達が難しい物もある。

②テーマ「新事業への挑戦サポートについて」

【委員等からの意見】

・補助金については、募集時期等によって利用できる事業者が限定される。

・新たな創業支援も重要であるが、既存事業者の人手不足を促進させないか、心配する。

・採択条件に「ＵＩターン者」や「市内での新規性」などを加えてはいかがか。

・商品ＰＲについては、新たな取組みであり、面白い。情報発信が苦手であり、情報発信に関する支援は事業者から求められるのではないか。

・更なるＰＲ手法として、表彰制度の創設も面白い。ただし、表彰規定（社歴、取組内容）等を明確にしなければならない。

・商工団体が独自に実施してもよいが、行政と一体で行う方がよい。

　→表彰制度については、事務局において整理する。

③テーマ「現状把握について」

【委員等からの意見】

・商工団体については、定期的に景況調査が義務づけられている。

・その他にも通常常務の中で地域の状況については把握している。

・新型コロナウイルス対策については、市と商工団体や金融機関等を含めた協議をもっと開催しても良かったかもしれない。

・会議所が実施したアンケート調査について、郵券料だけで約15万円かかったので、ＷＥＢ調査等の新たな方法を検討してもよい。

・以前県が行った地域経済構造分析など、地域全体の経済の動きを把握し、対策を講じることも重要ではないか。

　→内閣府や環境省でデータを公開しているので、次回紹介する。

④テーマ「その他」

【事務局からのお願い】

・前期の商工業振興会議での「人材確保と定着」についての議論を踏まえ、今年度市では「MASUDA no Douki」と「企業採用力ＵＰ個別サポート」を実施している。

・事業者への周知等について、商工団体（会議所労務対策委員会）と協力いただきたい。

・担当委員長にも説明に伺うので、調整いただきたい。